





病状説明：前立腺癌を認めます。手術にて前立腺を摘出します。 入院期間は約2週間です。		退院基準：日常生活に支障がない程度に尿禁制が保たれる。 発熱がない。創部痛が内服薬でコントロールできる。 創部に異常(著明な腫脹・出血・感染・離開)がない。 退院後の生活について理解できる。	
検査 治療 処置	入院・手術前日(/ /) ●リストバンドをつけます。 ●身長・体重を測定します。	[前] 手術当日(/ /) [後] ●体温・脈拍・血圧を手術直後から、定期的に測ります。 ●酸素・心電図モニター等をつけます。	手術後1日目(/ /) ●体温・脈拍・血圧を適宜測ります。 ●酸素等をはずします。 ●採血とレントゲン撮影があります。
薬剤	●普段内服している薬があれば お預かりします。 	●手術後は点滴をします。 	●抗生剤の点滴があります。 
安静度	●病院内自由に歩行できます。	●主治医と看護師と歩いて、手術室へ行きます。 (マスクをつけていきます)	●歩行できます。
リハビリ デーション			●リハビリテーションを開始します。
排泄		●手術中に尿の管が入ります。	
清潔	●手術する部位の毛を剃り、 お臍の掃除をします。 その後、シャワー・シャンプー 爪切りを済ませて下さい。 	●起床後必ず、洗面・歯みがきをして下さい。 ●油分の多いクリームをつけたりしないでください。 ●時計、アクセサリー、入歯など外せるものは全て外して下さい。	●体を拭き、パジャマに着替えます。 (看護師が行います。)
食事 栄養管理	●食事は夕食まで食べられます。 ●水分は十分にとって下さい。	●食事を摂ることはできません。 ●水分は、お茶・水のみ()時まで摂ることができます。 それ以降は摂ることができません。	●診察後よりお茶・お水を摂ることが出来ます ●昼より全粥がはじまります。 (食事の開始は遅れることがあります。)
説明 指導 教育	●麻酔科医による診察があります。 ●薬剤師の訪問があります。 ●手術室看護師の訪問があります。 ●理学療法士から説明があります。 ●眠れない時には、看護師に お知らせ下さい。 	●手術室に入室する30分前に、うがいと排尿を済ませて下さい。 ●手術着に着替えます。 <手術後の必要物品> ●コップ ●曲がるストロー ●入れ歯入れ(必要時) ●前開きのパジャマ ●パンツ又はオムツ ●歯磨きセット ●ティッシュ1箱	●大切な管がたくさん入っています。抜かないように 気をつけましょう。 ●痰は飲み込まずに出して下さい。 <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;"> 手術室に入室する時刻は 時 分 予定になっています。 ※朝一の手術でない場合時間は 前後します。 </div> 
サイン欄			

前立腺摘除術を受ける方へ

	術後2日目(/)	術後3日目(/)	術後4日(/)	術後5・6日(/)(/)	術後7日(/)	術後8日(/)	～(/) 退院日
検査 治療 処置	●体温・脈拍・血圧を 適宜測ります。 ●傷の観察をします。	●採血があります。 			●採血があります。 		
薬剤							
安静度	●歩行できます。		●制限はありません。 積極的に歩きましょう。				
リハビリ テーション	●看護師（及び理学療法士）による リハビリテーションを行います。						
排泄	●尿に管が入っています。			尿もれパットの購入を お願いします。	問題なければ、尿の管を 抜きます。 ●自分で排尿できます。		
清潔		●尿の管だけになれば シャワーに入れます。 	尿の管を抜いた後 排尿日誌をつけてもらいます。				●退院療養計画書をお渡します。 ●退院後の生活についての 説明があります。(医師・看護師) ●必要時、薬剤師よりお薬の説明があります。 
食事 栄養管理	●朝より普通食です。	●制限はありません。					
説明 指導 教育					●尿の管が抜けた後、しばらく 排尿時の痛みや尿漏れが あります。 ●骨盤底筋群体操を始めます。 (別紙用紙をお渡しします)		
サイン欄							